

原子力発電所の中ってどうなってるの？

**高い技術力で作られた
さまざまな機器が入っているよ。**

原子の力で高熱を出してたくさんのエネルギーを生み出す装置や、そのエネルギーで蒸気を作る装置、タービンと呼ばれる鉄の羽を動かすために蒸気を吹きかける装置、それらを安全に動かすための装置など、社会生活を支えるたくさんの機械が動いているよ。

株式会社 日立製作所 原子力ビジネスユニット

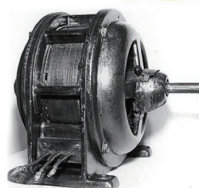


最新の技術と信頼のモノづくりでエネルギーの未来を

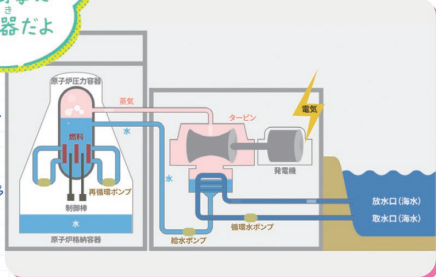
日立製作所は1910年に日立鉾山で使う機械の修理場で、5馬力モーターを製作し創業しました。創業者は小平浪平。優れた自主技術で社会に貢献することを目指し、時代の流れとともにさまざまな製品を作り続けてきました。1962年からは原子力発電所を作る仕事を始め、私たちの暮らしに欠かせない世界中のエネルギー作りを支えています。



日本初のモーターを作ったのは
創業者の小平浪平



エネルギーを生み出すときの衝撃に負けない容器だよ

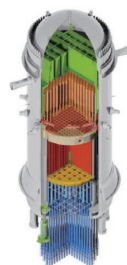


原子力のエネルギーで水から蒸気を！

原子力発電所の中にあるとても重要な原子炉圧力容器。容器の中の蒸気の圧力や熱に負けないよう特別な金属で頑丈にできています。

蒸気の力で発電機を動かして発電します

原子炉炉内構造物は、原子炉圧力容器の中にある部品。水や蒸気の流れを整えたり、燃料を支えたり、いろいろな役割があります。



安定したエネルギーの提供をサポートしているのね



はたらく人に聞いてみた！



INTERVIEW

原子力発電所で電気を作るための機器を作っています。かたい金属を切ったり、曲げたり、つなげたりして高さ10m、重さ100tにもなる大きな製品を組み立てます。協力して作る楽しさや大きな達成感がある大好きな仕事です。

製造

蛭田 精也 さん



INTERVIEW

電気を作る原子力発電所では、安全に動くしくみがとても大切。私は、機械が正しく動くように考えて設計図を作ったり、外国の会社と話し合ったりしています。まるで未来のしくみを創るエンジニア！毎日がチャレンジと発見です。

設計

山田 ひめの さん



製造工場でのお仕事

プロジェクト



電力会社や会社の仲間と協力して、原子力発電所の工事に必要な時間やお金を計算したり、工事がきちんと進んでいるかを確認する仕事をしています。

設計



どういう機器を作れば良いかを考えて、形や使う材料を決めて設計図を描きます。また、使い方や点検の方法も考えます。

製造



設計図をもとに、機械を使って鉄などのかたい金属を切ったり、曲げたりしていろいろな形にした後、金属をとっても熱くしてつなげて製品を作ります。

品質保証



出来上がった製品がちゃんと動くか、計画通りに作られているかをチェックします。壊れにくく、危なくないように作られているかをしっかり確認します。

ここにも注目！！



日立製作所にはモノづくりを学ぶ学校「日立工業専修学校(にっせんこう)」があり、卒業生は日立グループの社員として世界中で活躍しています。

